

2026

求人のための大学案内
2027年3月卒業・修了

◆ 応用生物学部

応用生物学科

◆ コンピュータサイエンス学部

コンピュータサイエンス学科

◆ 工学部

機械工学科 電気電子工学科 応用化学科

◆ メディア学部

メディア学科

◆ 医療保健学部

看護学科 臨床工学科 臨床検査学科 リハビリテーション学科（理学療法専攻／作業療法専攻／言語聴覚専攻）

◆ デザイン学部

デザイン学科

◆ 大学院

デザイン研究科 デザイン専攻

医療技術学研究科 臨床検査学専攻

バイオ・情報メディア研究科 バイオニクス専攻 コンピュータサイエンス専攻 メディアサイエンス専攻

工学研究科 サステイナブル工学専攻



東京工科大学

TOKYO UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

ごあいさつ

平素より、東京工科大学の教育活動に対し、格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。本学は1986年に「豊かな教養と高度な学術を備えた実践的技術者の育成」を建学の理念として開学いたしました。以来、「実学主義教育」を基盤として、社会で即戦力となる人材の育成に努めてまいりました。

現在、社会は急速に変化しており、デジタル技術の発展やサステナブル社会の実現に向けた課題が増えています。これに対応するため、本学ではAIやIoT技術、サステナビリティに関する専門的な知識やスキルを身につけた人材の育成にも注力しております。学生たちは、在学中に実践的な経験を積み、企業や社会で活躍できるよう、コーオプ教育などを通じて社会人基礎力を身につけます。

卒業後も時代の変化に対応し続けることができる本学の学生たちが、企業においても重要な戦力として成長していくことを確信しております。今後とも、東京工科大学の学生へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。



八王子キャンパス



蒲田キャンパス

東京工科大学の教育

アクティブラーニングで、変化に適応していける実践的人材を育成

「実学主義教育—アクティブラーニング」とは、専門分野の基礎をしっかりと教育することで、社会や生活、ビジネスや技術がどのように変化しても、常に適応していける優れた人材を育成することを目標としています。その実践のために、本学では「基本理念」と「四つの具体的理念」を掲げています。

この理念に基づき、次代を担うにふさわしい実践力や創造性、高度なICTスキル、そして国際感覚を身につけた本学出身者たちは、幅広い企業で高い評価をいただいております。

大学生活を単に学問の場とするだけでなく、その先の実社会での活躍に向けて支援する。それが東京工科大学のポリシーです。

活躍できる 主な職業領域

東京工科大学の学生は専門分野にかかわらず、
様々な職業領域で活躍しています。

◎○印の付いていない学部・大学院でも学生の興味関心・学修により活躍している学生が多く在籍しています。

		基礎研究・応用研究	設計・開発	生産管理	保守・メンテナンス	検査・臨床検査	施工管理	品質管理・保証	環境サービス	営業・販売	企画・マーケティング	事務	システムエンジニア	プログラミング・データサイエンス	デザイン・制作	S・M・O・C・R・O・M・R	医療系資格専門職	その他職業領域
学 部	応用生物学部	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	○		◎	○	○		◎		○
	コンピュータサイエンス学部	○	◎	◎	○					○		○	◎	◎				○
	工学部	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	○	○		○	○	○		○		○
	メディア学部	○	○	○	○		○		○	◎	◎	◎	◎	◎	◎			○
	医療保健学部	○			○	◎		○								◎	◎	○
	デザイン学部						○			◎	◎	○	○		◎			○
大 学 院	デザイン研究科						○			◎	◎	○	○		◎			○
	医療技術学研究科	◎				◎		○								◎	◎	○
	バイオ・情報メディア研究科	◎	◎	◎	○	○		◎	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	◎		○
	工学研究科	◎	◎	◎	○	○	○	◎	○	○		○	○	○		○		○

コーオペ教育

コーオペ教育とは

大学と企業が連携し、 学生の実践力を養成する 教育プログラムです。

コーオペ教育 (Cooperative Education) とは、1906年に米国のシンシナティ大学工学部で開発された教育プログラムです。これは「学内の授業プログラム」と「学外の就労体験型学修プログラム」を交互に受けるカリキュラムで、北米や欧州で盛んに実施されています。このプログラムを学修する学生は、一定期間企業において有給で「就業体験」を行うことにより大学の単位を修得できます。これによって、従来のカリキュラムでは成し得なかった、社会人としての基礎能力や実践力を身につけることが可能になります。

東京工科大学では、2015年度から工学部においてコーオペ教育を実施しており、2020年度からコンピュータサイエンス学部、メディア学部、応用生物学部の3学部でもコーオペ教育が導入されました。

わが国では昨今、若者の離職率の増加や職業定着率の低下などが見受けられ、学生の主体的な職業選択や高い職業意識の育成が重要な課題となっています。これに対し、学生がコーオペ教育を学修することによって、社会人としての責任感やマナー、実践力や主体的行動力を修得するとともに、学修意欲や就業意識の向上が大いに期待できます。

コーオペ教育における企業のメリット

1 企業を活性化し、共同研究へ発展も

学生のフレッシュな感性と、新しいことに挑戦する精神が、企業の現場をより活性化させると考えられます。また、学生がコーオペ実習で学んだ内容を卒業論文のテーマとして選んだ場合、そのテーマが大学との共同研究へと発展する可能性もあります。

2 企業側のニーズを大学教育に反映させる

産学連携でコーオペ実習プログラムを開発する過程において、企業側のニーズを大学側に伝えることができます。それによって、コーオペ教育を含めた大学の教育プログラムに、産業分野の新たな動向を踏まえたニーズを反映させることができます。

3 大学・学生と企業の相互理解を促進

コーオペ教育によって大学と企業の交流が増えることで、お互いの情報発信が活性化すると考えられます。また、コーオペ実習は学生が企業の実態について知るチャンスである一方、企業側からも直接魅力をアピールするための機会となります。

4 労働力として学生が企業に貢献

コーオペ実習で就業する学生は、労働力として貢献することが期待できます。企業と学生のマッチングを行う際は、企業の要望と、学生の希望や能力等を大学が検討しており、実習プログラムも大学と企業が相談して作成しています。

5 人材の安定的な確保につながる

コーオペ実習は、企業の魅力を学生に伝えるための有力な手段になります。コーオペ実習生を受け入れることで、将来にわたって人材の安定的な確保につながる可能性があります。

6 将来的な早期離職（ミスマッチ）の防止効果

コーオペ実習による長期の就業体験で、学生は企業の実態を理解し、働くことの意義や価値を実感できます。これにより、学生が卒業を迎えて、コーオペ実習を行った企業に入社した場合も、早期離職に至る確率は低くなると考えられます。

大 学



企 業

インターンシップとコーオペ教育の違い

1 長期間の就業を経験できる

インターンシップの就業期間は一般的に1日から2週間程度と短期の場合が多いですが、コーオペ教育は長期間（3週間～2ヵ月）のため、より実践的な就業経験をいただけます。

2 有給で行われる企業実習

短期間で行われるインターンシップは原則として無給ですが、コーオペ教育は就業期間中は企業の労働者の一員として扱われるため、学生に賃金が支払われます。

3 事前・事後教育など体系化されたプログラム

コーオペ教育は、事前教育→企業実習→事後教育という流れで体系化されている教育プログラムです。これによって企業の現場にスムーズに溶け込み、実習で得た知識や経験をしっかり身につけることができます。

4 産学協働で構築された実習プログラム

一般にインターンシップは、大学は就業体験の内容に関知しませんが、コーオペ教育は産学協働で行う授業科目という位置づけのため、大学と企業が協力して実習プログラムを作ります。

希望者は約3週間の企業実習に参加し、実践力を磨きます。

コンピュータサイエンス学部、メディア学部、応用生物学部で行うコアオペ教育プログラムは選択科目であり、事前教育・約3週間の実習・事後教育を行います。事前教育では、企業実習に向けて社会人基礎力を修得し、自己能力の分析や企業実習の就業目標設定を行います。事後教育では実習の成果や課題をまとめ、その後の専門教育の学修につなげます。また、2025年度より各学部の専門分野と親和性の高い実習プログラムを、大学と企業で作成するプロジェクト型コアオペ実習を始めています。これまでの就業体験を中心とした実習に比べて、より学部の特性を活かした実習を目指します。

受入企業からの感想

実際の作業工程に触れることで、エンジニアの仕事に対する理解が深まり、職場の雰囲気も知ってもらえたと思う。 (大手IT企業)

実習生がくることで、若手社員の指導力養成の機会となっている。 (化粧品企業)

コアオペ実習の制度は、学生にとっては企業が分かり、企業にとっては学生のことが分かるので、良い制度だと思う。 (メーカー)

コアオペ教育プログラム

事前教育

社会人基礎力を養うための、就業マナーや報連相（報告・連絡・相談）のスキルを修得。自己分析やコアオペ実習の目標設定、企業研究等を行います。

実習

コアオペ実習 (企業実習)

約3週間の企業実習を行い、実習中の学びや気づきを週報や実習報告書にまとめます。

事後教育

コアオペ実習を振り返り、成果や課題をまとめ、その後の専門教育の学修につなげます。

コアオペ教育スケジュール

2・3年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
メディア学部 コンピュータサイエンス学部 応用生物学部	受入照会		企業マッチング	受入確定	事前教育 顔合わせ会	夏期 コアオペ実習（3週間）	事後教育	受入照会	企業マッチング	受入確定	事前教育 顔合わせ会	春期 コアオペ実習（3週間） 事後教育

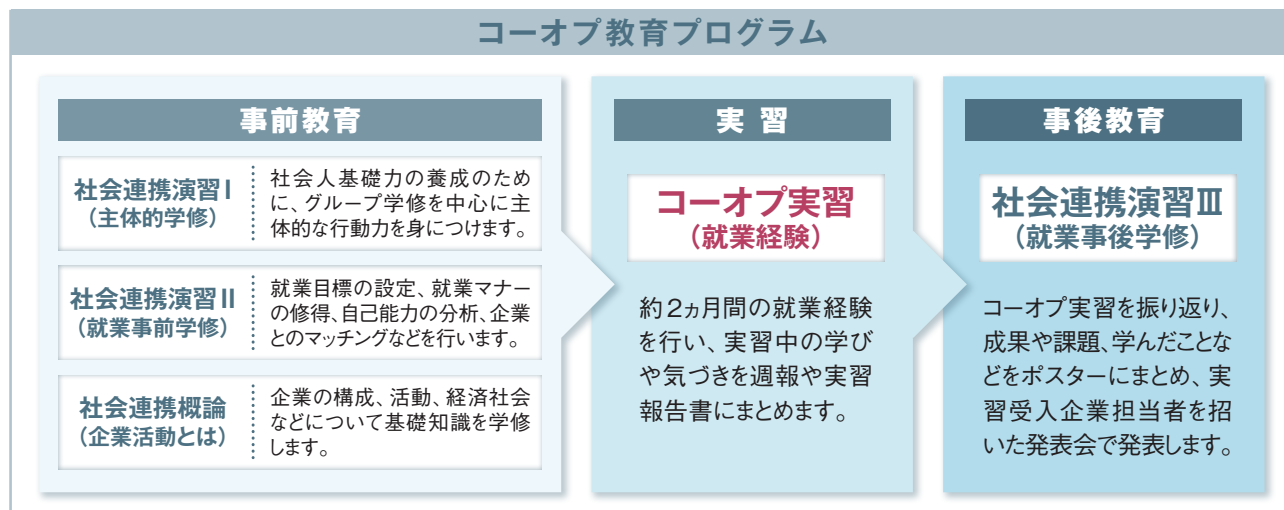
段階的に発展するカリキュラムを通して、実践力や専門性を高めます。

コア教育における就業効果を最大限に高めるため、事前・事後教育を必修科目として組み込んでいます。そのため、学生は就業の前にグループ学修を通して協働作業の重要性や自己能力の分析、就業目標の設定、就業マナーなどを身につけてから就業を行います。コア教育実習後には、就業経験の振り返り、気づきや職場でのニーズ、改善業務について討論を行い、その後の専門教育の学修につなげていきます。

実習前の「顔合わせ会」では、企業と学生が実習前に顔合わせをすることで、実習に向けた不安を解消し、安心して実習に臨めるようにしています。また、実習後には実習先企業へ向けた「成果発表会」を開催し、学生の学びを企業へフィードバックしています。



コア教育プログラム



コア教育スケジュール

機 械 工 学 科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	2年次												3年次		
	受入照会	企業マッチング	受入確定	顔合わせ会	引継ぎ会 事前ガイダンス	第3期 コア オブ実習 (約2ヵ月間) 機械工学科 A 50名	引継ぎ会	第4期 コア オブ実習 (約2ヵ月間) 機械工学科 B 50名	評価報告書提出	春期選択 コア オブ実習 (3週間)				成果発表会	

電 気 電 子 工 学 科 応 用 化 学 科	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
	2年次						3年次									
	受入照会	企業マッチング	受入確定	顔合わせ会	引継ぎ会 事前ガイダンス	第1期 コア オブ実習 (約2ヵ月間) 電気電子工学科 A 50名 応用化学科 A 40名	引継ぎ会	第2期 コア オブ実習 (約2ヵ月間) 電気電子工学科 B 50名 応用化学科 B 40名	評価報告書提出	夏期選択 コア オブ実習 (3週間)					成果発表会	

「コーオペ実習」受入企業への就職実績

(2023年3月～2025年3月卒業生実績)

学部／専攻	応用生物学部	工学部	工学部	メデア学部	デザイン学部	バイオ・情報メデア研究科	工学研究科	総計
コーオペ実習 受け入れ企業								
アイチコーポレーション		2					2	4
アイネット	1		2					3
アイ・ピー・テクノス		1						1
アクティブフュージョンズ		1						1
アプリス	1							1
アマダ		1						1
アマダウエルドテック							2	2
アミノ化学工業							1	1
岩渕薬品		1						1
大森機械工業		1						1
キャブ	1							1
京西テクノス		1						1
協同電気		2						2
クローネ		2						2
コミット	1	1	1	1			1	5
サーフクリーン		1						1
佐島電機		1						1
ジェイファスト	1							1
JVCケンウッド		3				1		4
シチズンマイクロ							1	1
シュクレイ	3							3
新電子		1						1
鈴鹿	1						1	2
ステアーテクノロジーズ				1				1
セプト	1	2		6				9
ソノコム		1						1
第一硝子	1			1	1			3
ダイワハイテックス		1						1
月島ジェイテクノメンテサービス	1							1

学部／専攻	応用生物学部	工学部	工学部	メデア学部	デザイン学部	バイオ・情報メデア研究科	工学研究科	総計
コーオペ実習 受け入れ企業								
TBK		2					1	3
テックラボ		1						1
寺岡精工		1						1
東邦電子		2					1	3
トランスコスモス	1	7	2	2		1		13
南旺社						1		1
日興通信		2	1					3
日本デオドール		1						1
ハイワークス			1					1
ハネダ		1						1
ハミルトン		1						1
ピーエスシー	1	3	1					5
ヒロオ		1						1
廣澤精機製作所		1						1
ファーストフーズ	2							2
フジマック				1				1
扶桑電通		1	1					2
プライムデリカ	6							6
プロフェッショナル・ネットワーク・コンサルティング		1						1
三木プーリ		2						2
ヤマデン		1	1					2
ヤマト科学	1	3						4
雄電社		1						1
ライトボーイ		2						2
ラッシュジャパン	1							1
リングロー			1					1
ルケオ		1						1
総計	19	17	49	17	4	3	10	119

お問い合わせ先

東京工科大学
八王子キャリアコーオペセンター
コーオペ教育担当

TEL. 042-637-2126
E-Mail tut-coop@stf.teu.ac.jp

応用生物学部

School of Bioscience & Biotechnology

**生体の持つ優れた機能を追究し、
産業応用することができる実践的な人材を育成しています。**

本学部は、生命科学・医薬品専攻と食品・化粧品専攻から構成されています。両専攻とも産業界で活躍できる人材を育成するため、以下のカリキュラムで教育を行っています。

- ①1、2年次では、主として幅広い教養科目と生物・化学を中心とした専門基礎科目を学びます。
- ②3、4年次、生命科学・医薬品専攻には、生命科学コース、医薬品コース、食品・化粧品専攻には、食品コース、化粧品コースが用意されており、将来の目標や興味に合わせてコースを選択します。そして、専門的な講義や演習・実習、卒業研究を通して、専門分野を深く追求していきます。

本学では国際的な教養、実学に基づく専門能力、コミュニケーション能力、論理的思考力、分析・評価能力、問題解決力をラーニング・アウトカムズ(学修の成果)と定めて、4年間でこれらの能力を身につけます。



生命科学・医薬品専攻

生命科学コース

生物が持つ優れた機能を巧みに応用し、医療や環境保全に役立てるための知識・技術を学び、生命科学分野と環境分野に役立つ人材を育てています。生体分子と計測技術を融合させた病気診断用バイオセンサー、微生物を使った環境浄化、遺伝子組換え技術を活用した砂漠の緑化などのSDGs達成を主眼に置いた課題について、それぞれの研究開発の基盤(原理、技術的背景)を学んだうえで、最先端の研究進歩をキャッチアップしています。日進月歩で発展するバイオテクノロジーを深く学ぶことにより、学生自らが考え試行錯誤と本質を見極める体験を積み重ね、実力と自信を培います。

医薬品コース

最先端のバイオテクノロジーを応用して、人々の健康を支える医療システムの開発や、医薬品を創製する技術を追求めます。遺伝子組換え技術や細胞工学技術などの生物的アプローチに加え、生物と化学との融合による新しい創薬技術など、現在、最も注目されているバイオ医薬品を学び幅広い開発に貢献する技術を身につけます。核酸医薬、タンパク質医薬、遺伝子診断、再生医療、ドラッグデリバリーシステム(DDS)の創製などの研究を通し、専門的な知識や技術はもちろんのこと、困難な問題に直面した時に解決方法を見出すための「対応力」や「柔軟性」も育てます。

食品・化粧品専攻

食品コース

人々の健康をサポートする新しい食品の開発および食品の品質管理に、最新のバイオテクノロジーを活用し取り組みます。食品のおいしさや生理機能、安全性を解析し、高齢化社会において、人々がより健康的な生活を送るのに役立つ画期的な機能性食品の研究開発を通して、食品製造の最前線で活躍できる実力を伸ばしていきます。食品科学や栄養科学、機能性食品学など主要な科目を体得し、専門研究の土台を築きます。本コースを修了した場合には、食品衛生管理者、食品衛生監視員の国家資格が取得できます。

化粧品コース

皮膚・毛髪と化粧品に関する知識・技術を実践的に学んでいます。皮膚科学・毛髪科学を中心に、美白・抗老化・育毛などの有効成分開発に関わる分野、乳液やファンデーション、口紅などの化粧品を設計するための分野、化粧品理の分野に対する知識を体系的に身につけます。教員には化粧品メーカー出身者が多く、皮膚や毛髪の基礎研究を通じた有効成分開発や、新たな化粧品材料の開発を手掛ける研究など、最先端の化粧品の研究開発に触れる機会が多く与えられています。実際に企業との接点がある研究室も多く、より実践的な学識とスキルを習得した、エキスパートを育てています。

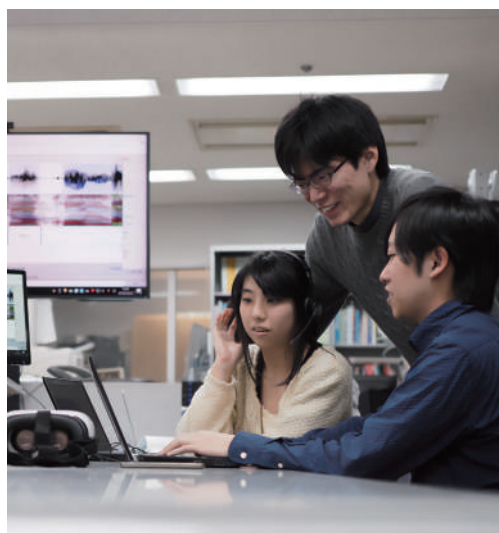
コンピュータ サイエンス学部

**激変する時代に、幅広い視野・柔軟性・チャレンジ精神を備え持ち、
社会の最前線で活躍し続けることのできるICTスペシャリストを育成します。**

ICTの進歩により社会は激変しています。

そのような社会的にも技術的にも先が見通せない情勢において、変化に対応するだけでなく、新しいニーズと価値を生み出せるエンジニアこそが高い評価と信頼を獲得し、社会に必要とされる人材として求められています。このような考えのもと、学生たちはコンピュータやネットワークの仕組みや計算の原理から先端ICTスペシャリストに必要な基礎学力を身につけるとともに、PBLやアクティブラーニングによる主体的な学びを通じて、将来にわたって継続的に最先端分野で働くことができる能力を培っています。

本学部では、ICTの専門知識やスキルを生かしたシステムの提案・開発を学ぶ「先進情報専攻」と、AIを利用した革新的ビジネスやサービスの創造を学ぶ「人工知能専攻」とからなる2専攻を教育・研究の基盤として、新時代を切り拓くことのできるICTスペシャリストを育成しています。



先進情報専攻

先進情報専攻では、情報セキュリティ、IoT、クラウドを3つの大きな技術と位置付け、先端ICTの知識やスキルを修得し、高度な技術力を持つ技術者やハイエンド・プログラマーとして社会が求める真のICTシステムやサービスを創造できる人材を育成します。このために、プログラミング能力・技術を身につけると同時に、コンピュータやネットワークの動作原理を基本から理解し、ICT技術全般について学びます。その後、複数のプログラミング言語と実践的なシステム設計・開発技法を学び、現在のICT社会が使っているリアルな技術を実験・実習を通して修得します。このように、ICT技術の本質を学び、社会が必要とする技術の修得は、我が国の科学技術の礎となるものであり、卒業後は情報産業の中核エンジニアに留まらず、社会が求める「技術者をリードできる真の技術者」になることを目指します。

人工知能専攻

人工知能技術は、近年、急速な発展をとげ、今後は広範な領域で社会の基盤となってゆくことが予想されます。自動運転車等の工業製品に組み込まれてゆくだけでなく、すでに、生産の自動化、医療、教育等の分野で、大きな成果をあげつつあります。また、商品やサービス提供の最適化を図り、金融取引を自動化する目的に利用されるなど、社会・経済を構成する主要要素となっています。このような背景から、人工知能専攻では、(1)人工知能技術自体の体系的な修得、(2)人工知能技術の社会への移転方法の修得、に焦点を絞り、これからの社会を担う中核人材の育成を目指します。具体的には、深層機械学習を中心とする基礎技術、プログラミングをはじめとするICT技術、および、社会の産業構造と価値創造過程の理解を共通の基礎とし、ビッグデータ、ヒューマンマシンインタフェース、知的ロボット技術を、多くの実習を通じて学ぶことにより、学生の社会への飛躍を支援します。

工学部

School of Engineering

21世紀に生まれた新しいコンセプトの「サステナブル工学」分野を 発展させ、応用できる工学スペシャリストを育成しています。

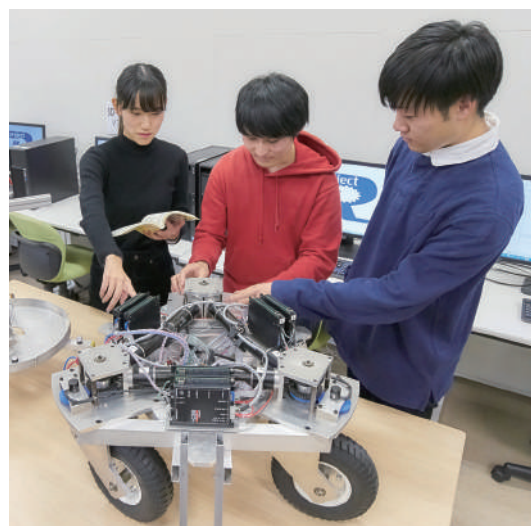
20世紀の科学技術の進歩は人々の生活の質の向上をもたらした一方で、資源の枯渇や環境破壊などの多くの問題を引き起こしました。そこで現代では持続的成長（サステナブル）社会を構築するための新しい工学技術が求められています。工学部では日本で初めて「サステナブル工学」の実践を理念として掲げ、サステナブル工学の基礎から応用までを身につけた人材育成を行っています。そのために以下のような特色ある実学教育を行っています。

- ①サステナブル工学の知識と技術に応用できる能力の育成
- ②コーオプ教育^{※1}による実践力、人間力の育成
- ③グローバル教育による豊かな教養と国際性の育成

サステナブル工学教育ではまずLCA（ライフ・サイクル・アセスメント）の基礎を学び、次いで3学科合同のグループワークにより、デバイス、システム、マテリアルの観点から身の回りの製品のLCAを行い、製品の改善提案を発表し、LCAの実践力を身につけています。コーオプ教育では社会人基礎力や企業論などの事前学習の後、約7週間企業で就業体験を行い、現場での適応力、課題発見力などの企業での実践力を身につけています。グローバル教育においては専門科目や工学英語科目により実用英語力を身につけ、技術英検などの資格取得を目指しています。

実学主義に基づいたものづくり体験と地域連携課題等で身につけたコミュニケーション力を通して、広い視野からSDGsを推進しサステナブル工学を実践できるエンジニアを育成しています。

※1 コーオプ教育について、詳しくは本誌3～6ページをご覧ください。



機械工学科

サステナブル社会を支える先進的な機械システムを構築します。

輸送機器・精密機器・産業用機器、さらにはロボットやマイクロマシン、医療用機器など、機械工学はあらゆる産業や生産活動を根本から支えています。

機械工学科は、機械・電気電子・システムなどの要素技術に関する知識に加え、先進的なシステムの開発に欠かせない専門知識と技術を修得する学科です。

機械の強度設計や性能設計に必要な力学や3D設計・開発、加工技術などに関する幅広い技術を身につけ、持続可能な社会の実現を目指すサステナブル工学のコンセプトに基づき、新たな機械システムを創造する人材を育成します。



電気電子工学科

産業や暮らしの未来を最先端の電気電子工学で切り拓きます。

太陽電池や電力ネットワーク、家庭・産業用の電気機器やコンピュータ・AI機器、そして機器に組みこまれた微細な電子部品まで、電気電子工学は電気を使用するあらゆる分野で役立ち、豊かで安心な生活を創造する原動力となっています。

電気電子工学科では、電気・電子回路や電気磁気学などからコアとなる基礎科目を学び、さらに電力機器・エネルギー・電子デバイス・センサー工学といった様々な専門科目を修得します。この電気電子工学の技術を、持続可能な社会の構築に必要なキーテクノロジーと位置付け、高度な専門知識と技術を持って先進的な電気電子システムを創造する人材を育成します。



応用化学学科

省エネルギーでエコロジーな社会に貢献できる先進的材料を創造します。

化学は、原子・分子レベルで設計・合成を行い、天然にはない優れた機能を持つ先進的材料を生み出します。

応用化学科では、有機・無機・バイオ・高分子などの化学の基幹分野を、サステナブル工学の観点から協調・融合させて、地球環境や社会に負荷を与えない材料の創造を追究します。また、それらを用いて省エネルギーに貢献する先進的なデバイスやシステムの実現を目指します。

化学工業・石油産業、食品・化粧品産業、自動車産業、半導体・電気電子機器製造業などの幅広い分野で、サステナブル工学の知識と技術を応用して活躍できる技術者・研究者を育成します。



メディア学部

School of Media Science

急速に進化するメディアの知識と技術・スキルを学修し、実践力と創造性に優れたメディアエキスパートを育てています。

メディア学を、コンテンツ・社会・技術の3要素から体系的に学びます。それらを通して、デジタルメディア技術とAI、ICTの活用能力も身につけます。メディア学部独自の演習方法である「プロジェクト演習」では、学年を越えたチームで活動し、産学連携のプロジェクトも多いため、企業において必要なコミュニケーション能力や問題解決力も身につけます。キャリア教育には学生同士で評価・分析する課題が含まれており、「批判的思考力」が養われます。また、メディア基礎演習では、コンテンツ、技術、社会のテーマをバランスよく配置しており、デジタルコンテンツの扱い方、プログラミングの基礎や機械学習の体験、そして、課題発見・調査・分析・ディスカッション・プレゼンテーション・レポート作成など、デジタル社会で活躍する人材に必要な素養を全学生が早期に身につけます。メディア学部では、人と人、人と社会をメディアによって結ぶ技術や方法論、実践例を著作権の知識も含めて学修し、技術や社会環境が激変しても活躍し続けられる力を身につけます。



メディアコンテンツコース

社会や企業の活動などを豊かに展開させるメディアコンテンツの企画・制作・配信ができる能力を持った人材を育成しています。

ゲーム・アニメーション・映像・CG・音楽・Webなどを具体的な対象とし、それらの制作方法や制作技術などに重点を置いて学びます。さらに、高度で優れたソフトウェアを制作の道具として使いこなす演習や研究を通して、具体的な目標に向けAIやICTを駆使する能力を修得させます。

メディア社会コース

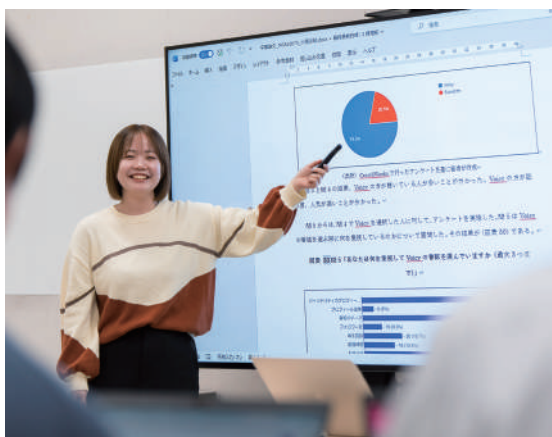
メディア社会コースは、社会とメディアの接点を見つめ、人々に貢献するサービスやビジネスを形にしていこうと目指しています。

主な研究分野は、社会情報技術、ソーシャルデザイン、デジタルジャーナリズム、広告マーケティングの4つです。ソーシャルメディアの発展などによって、社会は大きく変わりました。そうしたなかで、メディア社会コースでは、持続可能な社会の実現に向け、多様性を尊重した、革新的な提案を行える人材を育成しています。

メディア技術コース

メディアの最先端技術を用いて、豊かで便利なメディア社会の実現に貢献する技術を学ぶコースです。

コンピュータやスマートフォンを便利に使うインターフェース、双方向通信、グラフィカル・ユーザー・インターフェース、AIなどを専門演習内で学びます。これらの演習を通してアプリケーション・音響・音声対話・ゲーム入出力デバイスなどに関する幅広い知識と技術を身につけ、視聴覚情報処理に関する高度な理論と実践的技術を駆使して多彩なビジネス・産業分野で活躍できる人材を育成します。



医療保健学部

School of Health Sciences

**コミュニケーションとコラボレーション能力に優れ、医療を支える
科学技術やICTの理解に秀でた医療専門職を育成しています。**

今日の医療では、高い専門性だけでなく専門職間の相互理解に基づく役割分担や協働が求められています。さらには、ICT（情報通信技術）を駆使しながら、多職種が連携して地域医療システム全体で患者様を支えるようになってきました。本学部では、患者様や医療専門職とのコミュニケーションとコラボレーション能力を重視した教育を行い、さらに理工系総合大学としての実績を生かし、医療を支える科学技術とともに、コンピュータや情報セキュリティなどICTの基礎、学科、専攻によっては医療におけるAIやAR・VRなどデータサイエンスを活用した研究や授業も探究的に行われています。

ものづくりと国際空港の街、大田区に根ざした本学部では、地域の人々の健康増進と国際貢献双方に意欲ある医療専門職を育成しています。



看護学科

SDGsの実現のために、多様なニーズに応えられる看護

患者さんの気持ちに寄り添い、自助力を高めて、その人なりの健康レベルを保持増進する看護はSDGsの実現に貢献します。社会の多様なニーズに応えるために、幅広い視点から看護を学べるカリキュラムを実施しています。臨床判断に必要な基礎的知識を強化するとともに、模擬患者による演習では現場を再現した4床の模擬病室を用意し、臨床で同時進行する事態への対応をトレーニングします。

また、学科を越えて協働する他職種連携を見据えたグループ演習、医療技術を自主的に確認できるe-Learningシステム、高機能シミュレーターを活用した技術演習など、多彩なプログラムを組んでいます。

在宅看護・産業看護・国際看護にも視点を置き、医療機関をはじめ、多様な場や対象の方々に対し自分で考え実践できる“オールラウンダー”としての看護職を目指し、学生を養成しています。



School of Health Sciences

臨床工学科

患者の笑顔をつくる、いのちのエンジニア臨床工学技士

臨床工学教育の発祥の地として、伝統教育を継承しつつ、総合大学としてのメリットを生かし、豊かな創造力と行動力を備えた未来を創る医療機器のプロフェッショナルを育成しています。

実習では、血液浄化室ブース、集中治療室ブース、手術室ブースなど、最新の医療機器を豊富に揃えた、一流病院と遜色ない環境で、実践的な専門技術やコミュニケーション能力を修得できます。また、VRシミュレータ、AR支援システムといった、国内でも希少な先端教育を学内実習に取り入れていることが特色です。

5年以上の臨床経験がある臨床工学技士教員の在籍数は、全国でもトップレベルです。さらに、現役の臨床工学技士が非常勤講師として多数在籍しており、実学主義教育を後押ししています。

4年間の教育を通じて、人間性豊かで、コミュニケーション能力に優れた、患者の笑顔をつくるいのちのエンジニアを育成しています。



臨床検査学科

臨床検査データ解析のスペシャリストである臨床検査技師

医療の細分化や検査の高度化が進む現在、臨床検査技師は医療の現場で不可欠な存在です。

1・2年次では基礎教養とともに臨床検査の基礎科目を学び、実習を経験します。3年次の臨地実習では最先端医療を展開する病院と連携し、臨床検査技師の主な業務を体験します。必要な知識、スキルだけでなく、社会人としてのマナーに至るまで身につけます。4年次には卒業研究として興味のある分野で臨床検査に関わる様々な研究を行い、その過程で今後の医療人として成長していく礎となる学術的探究心を培います。

臨床現場での実践力だけでなく、様々な課題に対する問題解決能力や人間力を養う土壌を育むために、PBL (Project Based Learning; 問題解決型授業)、ルーブリック (Rubric; 評価指標と評価基準を示した成績評価法)、臨地実習前OSCE (Objective Structured Clinical Examination; 客観的臨床能力試験) への取り組みなど、細かな工夫がされています。これらの学修を通じて実践能力を養い、医療の現場で的確に行動できる高い人間性を持った人材、臨床検査学の将来の発展に貢献できる人材、社会や経済あるいは技術の変動に適応できる柔軟な人材を育成しています。



リハビリテーション学科／理学療法学専攻

「豊かな人間性」と「生かせる技術」を持った理学療法士

理学療法学専攻のカリキュラムは、1年次から臨床実習があり、医療人としての態度や礼節を早期に身につけ、その後の学内教育で高い目的意識を持って取り組めるように構成されています。また、1年次にも積極的に専門科目を配分し、早期から基本的技術や専門知識の修得に努めさせ、卒業生がすぐに現場で活躍できることを目指して教育を進めています。4年次には大学における学修のまとめとして卒業研究を主体的に行うことで高い学術的能力を養い、卒業後も科学的根拠に基づいて臨床実践を行える理学療法士の育成を目指しています。近年は、語学に優れた講師陣の持つ海外とのパイプを生かして、国際的な感覚を持った人材育成にも注力しています。



リハビリテーション学科／作業療法学専攻

対象者中心・作業中心の実践力を備えた作業療法士

対象者中心ならびに作業中心の作業療法実践に必要な知識と技術を備え、保健医療福祉の多彩なニーズと多様な場面で活躍できる作業療法士の養成を目標に、教育指導体制を整えています。知識・技術の基盤作りを支える学内教育と、早期からの臨床場面、実践場面での体験実習から評価実習、総合実習へと段階的に配置された臨床実践教育が、学生教育のコアとなっています。これらは、経験豊かな教員と実績のある協力実習施設との緊密な連携によって進められていきます。少人数体制により実現できる教員と学生の人間関係は、学生の個性と感性を磨き、対象者一人ひとりの作業的課題を解決していく専門職の一員となるように学生を育てていきます。



リハビリテーション学科／言語聴覚学専攻

実践力に加えて専門力を発揮できる言語聴覚士

医療保健学部では、2021年4月にリハビリテーション学科言語聴覚学専攻を新設開講しました。本学のモットーである実学主義のもと、大学の特色を生かしてICTを駆使し、1年次から多岐にわたるグループワーク、学内演習や見学実習・臨床実習と、段階的な実践的カリキュラムによって実社会に適応する言語聴覚士を養成しています。専門家として確かな知識と技術に支えられた実践力だけでなく、医療チームの一員として専門力を発揮できるコミュニケーション力と柔軟性のある人材を育てています。



デザイン学部

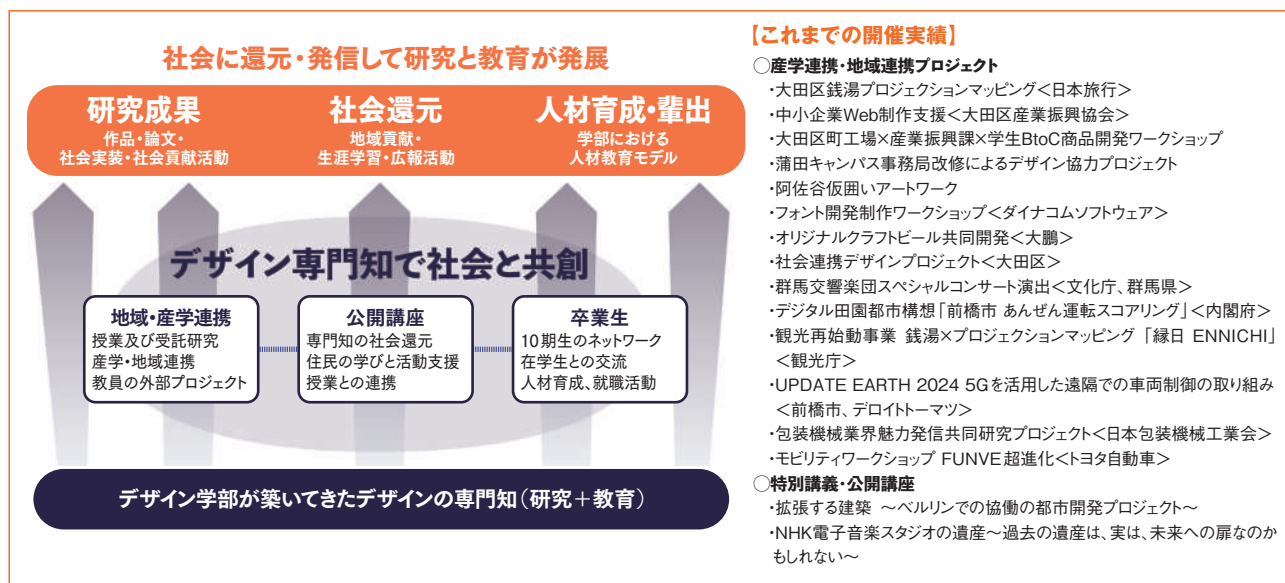
School of Design

東京工科大学デザイン学部は、
デザインは実学であることを
大切に考えます。

人に役立つ実践的なデザインの学びの中で、ものの見方や考え方、そして幅広い知識とセンス、スキルを高めます。こうした実学としてのデザイン教育の中で身につけた「集中力」「提案力」「実現力」「取材力」「発想力」「チーム力」を、創造性とチャレンジ精神をもって企業の中で生かせる意欲的な人材を育成します。これらの能力は、企画や開発、そして営業にも役立つものであり、これからは幅広い職種で求められるでしょう。



学部が目指すデザインの力



カリキュラム 学びの流れ

デザイン学部は2専攻4コース。「視覚デザイン専攻」「工業デザイン専攻」に分かれており広い視野を保ちつつ専門性の高い学修を実現します。表現や発想の根幹となる「感性」とデザイン制作に必要な「スキル」を軸として学修を進め、専門演習では世の中における様々な問題を見出し、その解決のためのデザインを提案する力を身につけます。

1・2年次（前期）

感性教育

「描く」「つくる」を造形基礎、「伝える」「関係づける」をデザイン基礎と位置づけ、それぞれの課題制作を通して、自らの力で感じ考え、手を動かしながら考察する演習です。

2年次（後期）・3年次

スキル教育

感性教育で養った基礎をもとに、デジタル表現技術として、グラフィック系、映像系、工業系、空間系、Web系、UI系ソフトを習得し、専門分野に進む際に必要なスキルを学びます。

2年次（後期）3・4年次

専門教育

感性教育とスキル教育で身につけた基礎力をもとに、視覚デザイン専攻は視覚伝達と視覚情報、工業デザイン専攻は工業もののづくり、空間演出のいずれかを選択し、デザインの専門性を追求しつつ、幅広い職種に求められる、社会やユーザーの課題を解決できる力を養います。

社会で活躍できる力を養うデザイン学部の学び

東京工科大学デザイン学部の特徴は、創造性を育む感性教育と、表現方法を学ぶスキル教育を融合させた、独自のデザイン基礎教育と実践的な専門教育にあります。

フィールドワークや学外プロジェクトへの参加など、実践的な学びを通して「学部が目指すデザインの力」を養います。

視覚デザイン専攻

視覚伝達デザインコース

多様な社会を対象に、出来事や考えを視覚的に伝えるデザインを学びます。タイポグラフィー、イラストレーション、画像加工などの専門的な知識や技術を駆使しながら、グラフィックデザインなどの手法を基礎として、webや印刷物、映像などのメディアにおいて、コミュニケーションを創出するデザインを提案します。



視覚情報デザインコース

自ら問題を発見し、対象を調査、分析して多彩なメディアを使いながら「目に見えない情報」を可視化・可聴化・体験化するデザインについて学びます。インターネット、デジタルデバイスのためのコンテンツ・アプリケーションの企画とデザインのために、必要な知識と知見を深め、情報社会の中にある課題をデザイン+テクノロジーで解決することを目指します。



工業デザイン専攻

工業ものづくりデザインコース

機器、家具、ステーションナリー、雑貨など日常生活の中で使われる製品を主な対象とし、将来のライフスタイルをイメージした製品や機器などのプランニング・提案を行います。単なるプロダクトの提案だけでなく、システム構築やサービスデザイン、ブランディングなどのデザインマネジメント全般を含めた考察を深めていきます。



空間演出デザインコース

人と人が出会う場としての、住居や公共施設・商業施設、インテリア・エクステリアから地域コミュニティ、さらには地球環境までを対象とし、将来の暮らしのあり方をイメージした様々な空間の演出・企画を学びます。デジタルシミュレーションやプロジェクションマッピング、映像などの手法を用いて、新たな空間デザインを追求していきます。



大学院 Graduate School

イノベティブで実践的な研究活動を通じて、
新しい知識の創出と人材教育を目指しています。

蒲田キャンパス

デザイン研究科

◇デザイン専攻

今やデザインは課題解決の思考法としてビジネススキルの1つに数えられるほど、社会・経済・情報活動に必須の資源となりました。加えて持続可能な社会を形成するために、デザインマネジメントによる創意工夫が次代の戦略として強く求められています。ICT教育の雄、東京工科大学大学院デザイン研究科では、定評ある先端技術の修得とスキル表現に裏付けられたデザイン研究により、国際社会でも通用するコミュニケーション力とマネジメント能力、そして計画遂行力を身につけることを可能にしています。そのデザイン研究では、対象をミクロからマクロまで調査、観察して様々な課題を見つけ「仮説」に置き換えることから取り組みます。成果はアイデアと共に論理的にまとめ「論文」となり、導き出された「仮説」は証明のために「作品」として制作されます。これら一連の研究、制作により、デザインの可能性を貴重な資源として世に問う事こそが、大学院における学びです。



医療技術学研究科

◇臨床検査学専攻

本研究科では、MTやCEなどの有資格者、受験資格者を幅広く受け入れています。授業内容も、医療現場における「チーム医療」を意識させるため、MD、MT、CE、PTの専門教員による最先端の医学・医療技術の知識のみならず、医療制度や社会保険制度など実践的で幅広い知識を教授し、他職種とのスムーズな連携に必要なコミュニケーション能力を持った人材の育成を目指しています。また、専門性の高い研究過程を通じて、未解決で未解明な課題を見つけるための“センス”を磨くとともに、研究計画に沿ったPDCAサイクルの実践により、問題や課題に取り組み解決する能力を鍛えることで、医療の進歩に貢献できる研究の基盤を養い、社会のニーズに幅広く対応・活躍できるメディカルスタッフの輩出を目指しています。



バイオ・情報メディア研究科

◇バイオニクス専攻

医療・医薬品、食品、化粧品、環境の各分野において、先進的科学技术を取り込んだ新しい知識や価値を創造するチームまたは個人型研究を推し進めています。

研究手法は化学、生化学、分析化学、細胞生物学、分子生物学、微生物学、生物情報科学等の基礎技術をベースにしつつ、新しい手法の開発にも積極的です。その研究は片柳研究所バイオナノテクセンターに設置の最高水準の理化学機器によって強力に推進されており、教員と学生が一体的に取り組む各分野のユニークな研究は、成果として社会への還元が期待されています。

この特徴ある教育と研究プログラムによって、本専攻は、発想力や協調性を備え、社会変化にも柔軟に対応できる人材を育成・輩出します。

◇コンピュータサイエンス専攻

社会のインフラとして、安心・安全かつ環境にやさしい情報システムの実現に向けて、産業界出身者を交えた教育・研究体制の下、高いコンピテンシーを備える技術者・研究者を輩出する教育に努めています。

仮想化されたサーバや高性能GPUが利用可能なプライベートクラウドなどの最先端の研究設備を擁し、人工知能の基礎・応用研究、クラウドサービスの実践と研究、および将来の社会インフラの実現に対応できる分野横断の様々な先端研究を推進しています。これらの研究を通し、次世代を担う高度IT人材を育成しています。

◇メディアサイエンス専攻

現代社会が抱える課題は、単一の分野に限定されるものではなく、複雑に絡み合った多様な要素によって構成されています。本専攻では、多角的な視点から問題を捉え、異分野の知識を融合させることで、新たなアイデアや価値を創造できる人材の育成を目指しています。私たちは、社会の理解（社会科学）、表現の発想（コンテンツ分野）、そしてそれらを支える技術（情報技術）を総合的に学ぶための教育基盤を提供しています。また、大学院レベルでは各自の専門分野を深く追求しつつ、異なる領域の知見を有機的に統合し、実践的に活用するスキルを養っています。このような能力を身に付けた人材は、異なる分野をつなぐ架け橋として多方面での活躍が期待されるでしょう。



工学研究科

◇サステナブル工学専攻

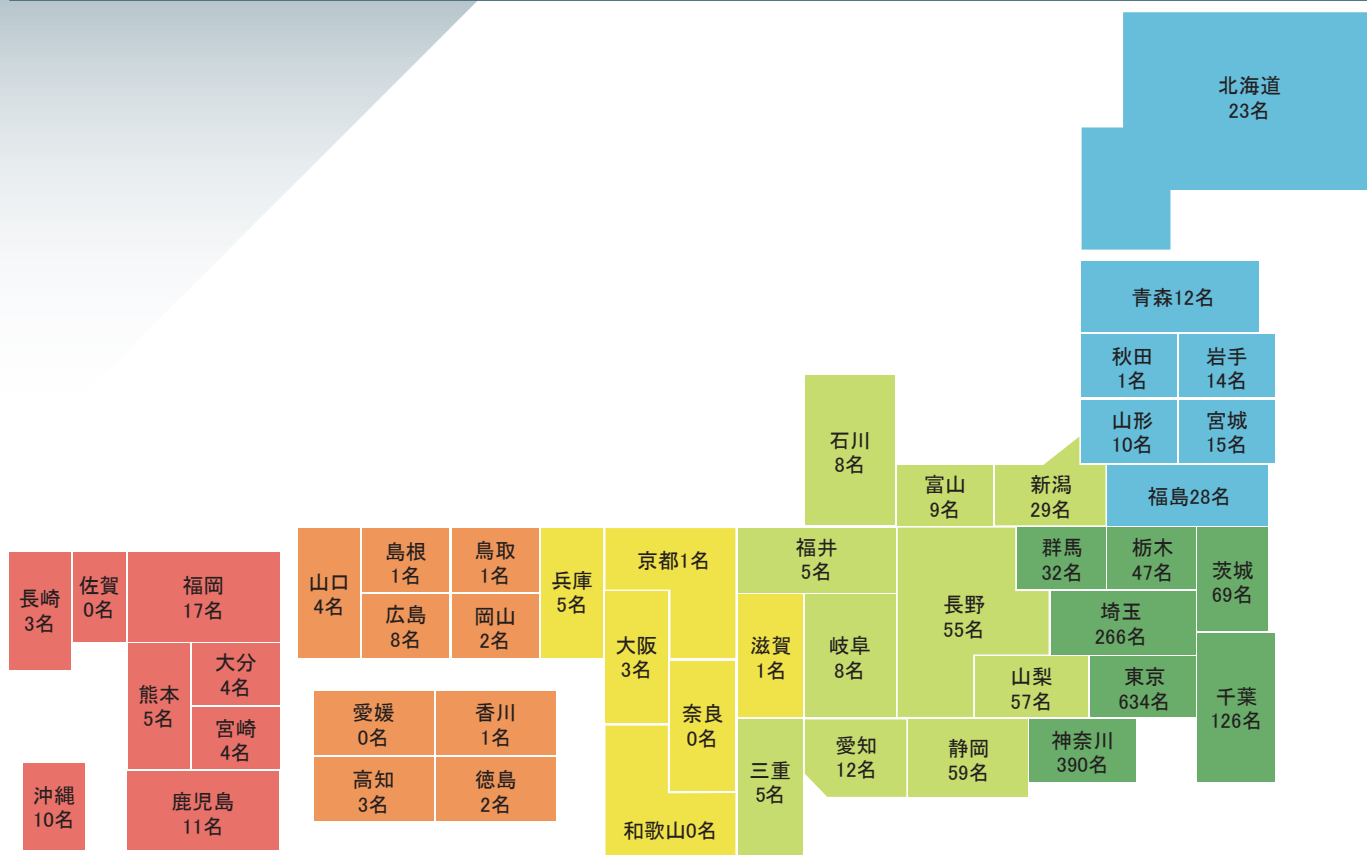
分野横断的な新しい工学分野であるサステナブル工学を発展させ、SDGsの達成に貢献する研究開発者の育成を目指します。そのために工学の各分野（機械工学・電気電子工学・応用化学）を広く横断的に学び、自分の専門を軸足としつつ他分野の専門的知識を併せ持つ π 型人材を育成しています。超スマート社会（Society5.0）の充実・発展や、第5次産業革命（Industry5.0）の推進にはIoT、AI、機械学習、ロボット、新素材などの幅広い知識と視野が必要です。様々な情報や技術を使いこなし、課題・問題を解決するための実践力として高度な専門知識と技術、論理的思考力、分析評価能力、コミュニケーション能力を身につけた人材を輩出しています。



出身

都道府県別出身者一覧

(出身高校所在地及び保護者住所による)



		北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県
応用生物学部		6	4	2	3		2	4	15	15	5	39	11	81	46	8	3	2		5	10	2	13
コンピュータサイエンス学部		3	2	4	3			6	6	6	5	52	15	137	55	2	1	2	4	10	9	1	9
工学部	機械工学科				2			2	2	3	1	10	3	43	24			1		5	4		3
	電気電子工学科	1						1	4	4	2	18	2	33	21	1	1	2		6	3	1	2
	応用化学科	2		1			1		1	1	2	16	1	31	16					3	1		3
メディア学部		5	4	3	5	1	1	7	15	3	9	45	13	99	57	7	2	1	1	12	12	3	9
医療保健学部	看護学科		1						5	1		8	4	27	28	1				3	1		2
	臨床工学科			1			1	3	3	1	2	12	9	17	22					3	2		3
	臨床検査学科			2			3	1	5	3	1	5	10	13	20					3			5
	リハビリテーション学科 理学療法学専攻						1	1	2	2		11	9	27	19	1				1	3	1	3
	リハビリテーション学科 作業療法学専攻	1					1		2	1		2	7	13	12	2					1		
	リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻				1				1		1	1	3	6	18						1		3
デザイン学部		3		1	1			2	7	6	4	26	32	69	31	5	2			3	7		3
大学院 全研究科		2	1					1	1	1		21	7	38	21	2				3	1		1
小計		23	12	14	15	1	10	28	69	47	32	266	126	634	390	29	9	8	5	57	55	8	59

		合計	海外		アラブ首長国連邦	インドネシア	カタール	スリランカ	タイ	バングラデシュ	ベトナム	マレーシア	モリタニア	モンゴル	ラオス	韓国	台湾	中国	小計
応用生物学部		306		応用生物学部						1						2		8	11
コンピュータサイエンス学部		370		コンピュータサイエンス学部				1	1			4		2		3	1	7	19
工学部	機械工学科	116		工学部	機械工学科							1				1		3	5
	電気電子工学科	111			電気電子工学科			2				1						4	7
	応用化学科	82			応用化学科											1		2	3
メディア学部		354		メディア学部	1							2				2		4	9
医療保健学部	看護学科	83		医療保健学部	看護学科														0
	臨床工学科	82			臨床工学科													1	1
	臨床検査学科	71			臨床検査学科														0
	リハビリテーション学科 理学療法学専攻	81			リハビリテーション学科 理学療法学専攻														0
	リハビリテーション学科 作業療法学専攻	43			リハビリテーション学科 作業療法学専攻														0
	リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻	38			リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻														0
デザイン学部		215		デザイン学部														2	2
大学院 全研究科		162		大学院 全研究科		1			1		1		1		1		1	51	57
総計		2114		小計	1	1	2	1	2	1	1	8	1	2	1	9	2	82	114

	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	小計
	2	1				1			1		1	1	1				1	4			1	1	1	2	1	295
	2	1			1	1						1		1				3			1	2	1	2	3	351
	2		1	1								1						2						1		111
					1	1																				104
																										79
	2	1			1					1	1	4	1	1			1	4		3	3		2	2	4	345
	1																							1		83
																		1						1		81
																										71
																										81
																					1					43
	1														1									1		38
	1	1										1	2				1	2						1	2	213
	1	1				2												1								105
	12	5	1	1	3	5	0	0	1	1	2	8	4	2	1	0	3	17	0	3	5	4	4	11	10	2000

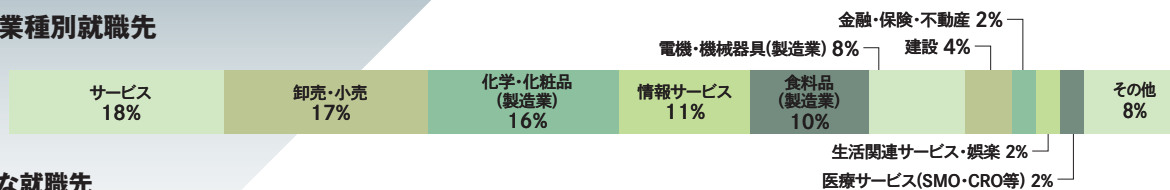
就職実績 (2025年3月卒業)

八王子キャンパス

就職率 = 就職決定者数 / 就職希望者数
※各数値は四捨五入しています
※大学院は博士課程を含みません

応用生物学部

業種別就職先



主な就職先

アートネイチャー	杏林製薬	新日本科学イナリサーチセンター	東日本旅客鉄道
アイロムグループ	極東製薬工業	スギ薬局 (スギ薬局グループ)	富士ソフト
アインホールディングス	クスリのアオキ	大和ハウス工業	プライムデリカ
アジュバンホールディングス	クラシエ	タカラ食品工業	マツモトキヨシ
アルピオン	クラランス	タカラベルモント	Mizkan
ウエルシア薬局	コストコホールセールジャパン	竹本容器	ミニストップ
AGC	コスメテックスローランド	ちふれホールディングス	ヤーマン
大塚商会	サティス製薬	デリア食品	山崎製パン
カネ美食品	サンドラッグ	トオカツフーズ	横浜冷凍
カメガヤ	ジェイオーコスメティックス	日本製紙	わかもと製薬
ガモウ	ジェーピーエス製薬	日本空調サービス	わらべや日洋食品
共立製薬	シミック	ピアス	

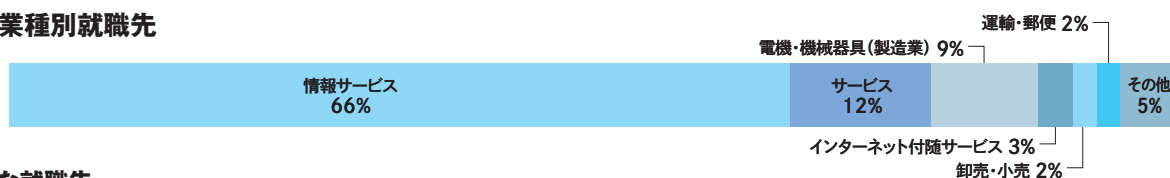
就職率

99.6%

ほか

コンピュータサイエンス学部

業種別就職先



主な就職先

ALSOK	静銀ITソリューション	DMM.com Group	日本IBMグループ
アルファシステムズ	シャープ	TDK	日本総合研究所
伊藤忠テクノソリューションズ	ジャステック	TDCソフト	ネットワンシステムズ
ウェルスナビ	Japan Advanced	DTS	東日本旅客鉄道
エイチ・アイ・エス	Semiconductor	デジタル・インフォメーション・テクノロジー	日立システムズ
SBテクノロジー	Manufacturing	電通総研IT	日立ハイテク
NSW	Sky	東芝インフラシステムズ	ビッグロブ
キャノンITソリューションズ	SUBARU	TOKAIコミュニケーションズ	富士ソフト
京セラコミュニケーションシステム	ソフトクリエイトホールディングス	トランスコスモス	三井住友トラスト・システム & サービス
KDDIアジャイル開発センター	第一生命テクノクロス	日本電気	三菱総研DCS
コナミデジタルエンタテインメント	DAIKO XTECH	ニフティ	
シーエーシー	DXCテクノロジー・ジャパン		

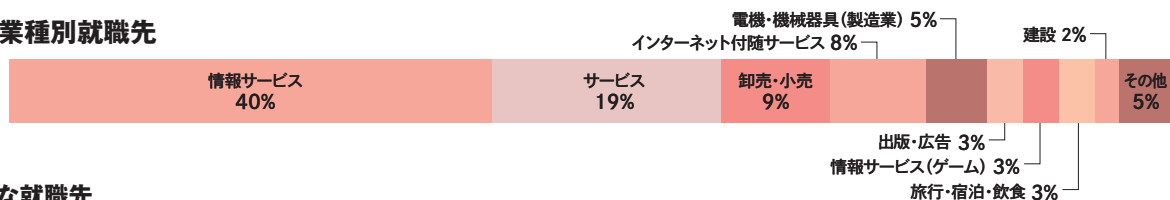
就職率

98.6%

ほか

メディア学部

業種別就職先



主な就職先

ALSOK	カプコン	積水ハウス	HIKE
アルファシステムズ	クスリのアオキ	第一興商	バンダイナムコエンターテインメント
イオンエンターテイメント	警視庁	TDCソフト	BIPROGY
INTLOOP	コーエーテクモホールディングス	電通プロモーションプラス	ファミリーマート
ADKホールディングス	コジマ	東京セキスイハイム	フォスター電機
A-1 Pictures	コスモス薬品	東プレ	メンバーズ
ANYCOLOR	サイゼリヤ	トランスコスモス	ヤクルト本社
NSW	佐川急便	ニトリ	レオン自動機
NSD	サントリーホールディングス	日本生命保険	
f4samurai	SHIFT	日本マクドナルド	
大塚商会	すかいらーくホールディングス	任天堂	

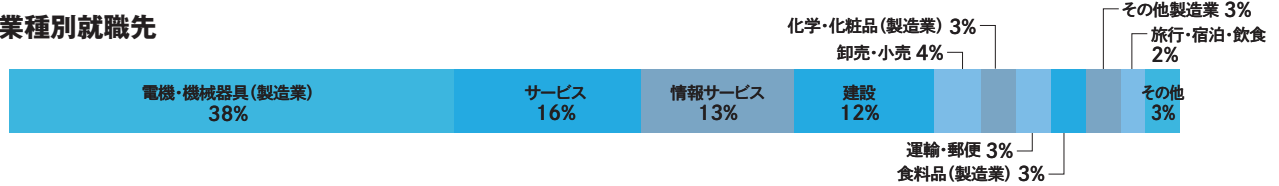
就職率

95.1%

ほか

工学部

業種別就職先



主な就職先

機械 工学科	イトーキ NTT東日本 オービーシステム 関電工 クエスト クレスコ 神戸製鋼所	スズキ SUBARU 巴工業 日産自動車 日本航空電子工業 パイオラックス ハマイ	日野自動車 本田技研工業 三井住友海上火災保険 八洲電機 山崎製パン 油研工業	ほか	就職率 98.9%
電気電子 工学科	ALSOK 小田急電鉄 サノヤスホールディングス サンケン電気 JVCケンウッド 芝浦メカトロニクス SUBARU	住友電設 千代田化工建設 TBK THK 東鉄工業 トランスコスモス 西松建設	日本発条 長谷工コーポレーション パラマウントベッド 東日本旅客鉄道 富士ソフト 富士電機	ほか	就職率 98.9%
応用 化学科	アインファーマシーズ アクシス 伊藤製パン 岩谷瓦斯 栄研化学 AGC カルビー	キヤノンアネルバ 小池酸素工業 サンケン電気 ソフトウェア・サービス TDK ティ・エス テック 東京応化工業	東洋合成工業 パーカーコーポレーション 東日本旅客鉄道 マーレジャパン 松田産業 物語コーポレーション	ほか	就職率 100%

大学院 (全研究科)

主な就職先

アイチコーポレーション アビリティ アルプスアルパイン イオンフィナンシャルサービス エスケイワード NECネットエスアイ NSW NTTデータ・ニューソン 大塚食品 オリエンタルランド カインズ カプコン キヤノンITSメディカル KDDI コンセント	Cygames JFEシステムズ ジオマテック 資生堂 芝浦メカトロニクス すかいらくホールディングス SUBARU ソニー ソニー・インタラクティブエンタテインメント ソラジマ 東京海上日動システムズ 東京計器 東京電力ホールディングス 東京都済生会中央病院	東邦大学医療センター大森病院 TOPPAN トランスコスモス ニトリ 日本ビッグメントホールディングス パナソニックITS 日立産機システム ファンケル 富士ソフト HOYA 本田技研工業 ミネベアミツミ 横浜市立大学 リンテック	ほか	就職率 99.2%
---	---	--	----	---------------------

蒲田キャンパス

※各数値は四捨五入しています

主な就職先

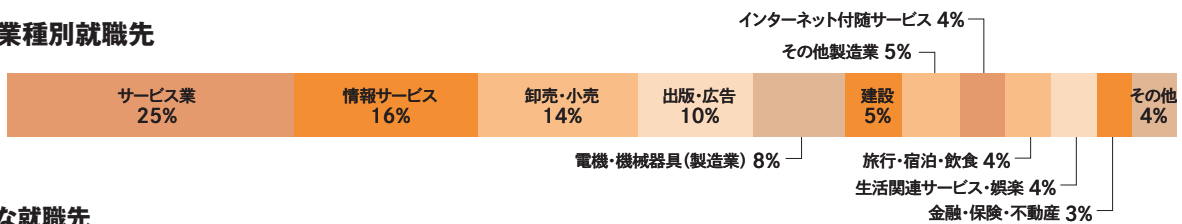
看護学科	看護師	大森赤十字病院 神奈川県立がんセンター 神奈川県立こども医療センター 川崎市病院局 がん研究会有明病院 北里大学北里研究所病院 けいゆう病院 国際医療福祉大学三田病院 国立がん研究センター中央病院 国立国際医療センター 埼玉県済生会川口総合病院 順天堂大学医学部附属浦安病院 湘南鎌倉総合病院 昭和医科大学江東豊洲病院 昭和医科大学病院	新松戸中央総合病院 総合東京病院 筑波大学附属病院 東京医科大学病院 東京慈恵会医科大学附属病院 東京品川病院 東京女子医科大学附属足立医療センター 東京都健康長寿医療センター 東京都済生会中央病院 東京都立多摩総合医療センター 東京都立墨東病院 戸田中央総合病院 虎の門病院 日本医科大学多摩永山病院 日本医科大学付属病院	日本鋼管病院 日本大学病院 武蔵野赤十字病院 大和市立病院 横須賀共済病院 横須賀市立総合医療センター 横浜市立大学附属市民総合医療センター	ほか	
	保健師		世田谷区 千葉県 富士通	ほか		
	就職率	100%				
	臨床工学科	相澤病院 板橋中央総合病院 大月市立中央病院 鎌ヶ谷総合病院 かもめ・みなとみらいクリニック 川崎駅前クリニック 関東労災病院 慶應義塾大学病院 公立昭和病院 済生会横浜市東部病院 済生会横浜市南部病院 埼玉草加病院 シーメンスヘルスケア 湘南大磯病院	湘南鎌倉総合病院 湘南藤沢徳洲会病院 昭和医科大学江東豊洲病院 昭和医科大学病院 昭和医科大学横浜市北部病院 新松戸中央総合病院 聖隷横浜病院 善仁会 総合病院聖隷浜松病院 立川相互病院 東京医科大学八王子医療センター 東京慈恵会医科大学附属柏病院 東京慈恵会医科大学附属第三病院 東京都済生会中央病院	東京都立多摩総合医療センター 東京都立墨東病院 東邦大学医療センター大森病院 東レ・メディカル 西東京中央総合病院 日本光電工業 日本メドトロニック フクダ電子北関東販売 藤沢湘南台病院 ボストン・サイエンティフィック ジャパン みはま病院 横須賀市立総合医療センター	ほか	
		就職率	98.6%			
		臨床検査学科	オルトメディコ 春日部中央総合病院 亀田総合病院 川口市立医療センター 君津健康センター 杏林大学医学部付属杉並病院 銀座こうのとりレディースクリニック 国立病院機構関東信越グループ 済生会横浜市東部病院 埼玉協同病院 新宿健診プラザ	聖マリアンナ医科大学病院 聖隷沼津病院 総合健診センターヘルチェック 立川病院 千葉県病院局 天宣会 東京歯科大学市川総合病院 東京都監察医務院 東京都予防医学協会 東京都立病院機構 戸塚共立第1病院 西東京中央総合病院	日本医科大学多摩永山病院 東戸塚記念病院 北総白井病院 保健科学研究所 星総合病院 メディカルトピア草加病院 横須賀市立総合医療センター 横浜市立みなと赤十字病院 横浜労災病院	ほか
			就職率	96.2%		

医療保健学部

リハビリテーション学科	理学療法専攻 麻生リハビリ総合病院 池上総合病院 イムス富士見総合病院 イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院 神奈川リハビリテーション病院 蒲田リハビリテーション病院 川口きゅうばりリハビリテーション病院 かわぐち心臓呼吸器病院 菊名記念病院 小平中央リハビリテーション病院 済生会湘南平塚病院 済生会横浜市東部病院 済生会横浜市南部病院	埼玉みさと総合リハビリテーション病院 佐々総合病院 寒川病院 山王病院 慈誠会・練馬高野台病院 湘南中央病院 新東京病院 新横浜リハビリテーション病院 杉並リハビリテーション病院 苑田会ニューロリハビリテーション病院 高島平中央総合病院 津田沼中央総合病院 東京品川病院	戸塚共立いずみ野病院 新座病院 ねりま健育会病院 練馬光が丘病院 初台リハビリテーション病院 花と森の東京病院 船橋総合病院 牧田総合病院 牧野記念病院 明理会東京大和病院 大和市立病院 横浜新緑総合病院 横浜なみぎリハビリテーション病院 ほか	就職率 100%
	作業療法専攻 イムス板橋リハビリテーション病院 イムス東京葛飾総合病院 イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院 イムスリハビリテーションセンター 東京葛飾病院 AOI七沢リハビリテーション病院 鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院	五反田リハビリテーション病院 済生会湘南平塚病院 済生会東神奈川リハビリテーション病院 さいたま赤十字病院 埼玉石心会病院 埼玉セントラル病院 埼玉みさと総合リハビリテーション病院	順天堂大学 湘南慶育病院 竹の塚脳神経リハビリテーション病院 タムスさくら病院江戸川 鶴川サナトリウム病院 初台リハビリテーション病院 東戸塚記念病院 横浜旭中央総合病院 ほか	就職率 100%
	言語聴覚専攻 行徳総合病院 品川リハビリテーション病院 総合東京病院	台東区立台東病院・台東区老人保健施設千束 東京品川病院	牧田総合病院 みなみ野病院 南山リハビリテーション病院 ほか	就職率 80%

デザイン学部

業種別就職先



主な就職先

アキレス アクタス あとらす二十一 SI&C SPGホールマン カインズ 神奈川中央交通 ギークピクチャーズ 木下のリフォーム クラウン・パッケージ ゲオホールディングス 小泉成器 コスモポリタン・クリエイティブ・ラボ サイバーエージェント	ザ・バック サンケイ総合印刷 ジールアソシエイツ JR東日本ビルテック JTB 昭栄美術 昭和システムエンジニアリング 住友不動産ヴィラ・フォンテーヌ 船場 ソフトバンク 高砂熱学工業 竹本容器 テクバン 東京リスマチック	トーイン トピア ナビタイムジャパン 西川 ビズリーチ ヒノキヤグループ フジマック ベガコーポレーション 三越伊勢丹プロパティ・デザイン METATEAM メンバーズ モノグラム 読売IS ほか	就職率 98.8%
---	--	---	---------------------

求人申込

本学への求人申込みは キャリアスUCからお受けしています。

詳細は本学ホームページをご確認ください。

キャリアスUCとは

- ・インターネットを通じて、全国の国公立私立大学、短期大学などの就職窓口に、求人情報(セミナー情報含む)やインターンシップ情報を配信するシステムです。
- ・ご利用は無料です。
- ・情報は即日学生に公開されます。

学校法人片柳学園設置校へのご求人は下記までお問い合わせください。

日本工学院専門学校 TEL. 03-3732-5610

日本工学院八王子専門学校 TEL. 042-637-3159

東京工科大学卒業生(OB・OG) 登録のお願い

東京工科大学もお陰様で2026年に創立40年を迎え、

各分野で卒業生が活躍しております。

しかしながら、ご採用いただいた企業様、

本学卒業生と在学生の係わりはまだまだ少ないと感じております。

そこで、今後のご縁を長くいただきたいとの考えもあり、

貴社にて活躍中の卒業生と在学生との係わる機会を増やしたいと考えております。

連絡の際は、登録いただきました担当様へご連絡を差し上げます。

また、卒業生の業務に支障が無いよう配慮いたします。

OB・OGは キャリタスUC よりご登録いただけます。

主旨ご理解の上、ご協力の程お願いいたします。

ご来学についてのお願い

東京工科大学キャリアコーオプセンター・キャリアセンターでは
企業・医療機関の採用担当者様とのご面談を受付けております。

※現在ご希望が多く全てに対応できない場合がございますので、ご理解いただければと存じます。

来学・オンラインでの対応が可能です。

面談ご希望の場合は必ず以下「お問い合わせ先」にメールでご連絡ください。

※面談ご希望の学部を明記してください。

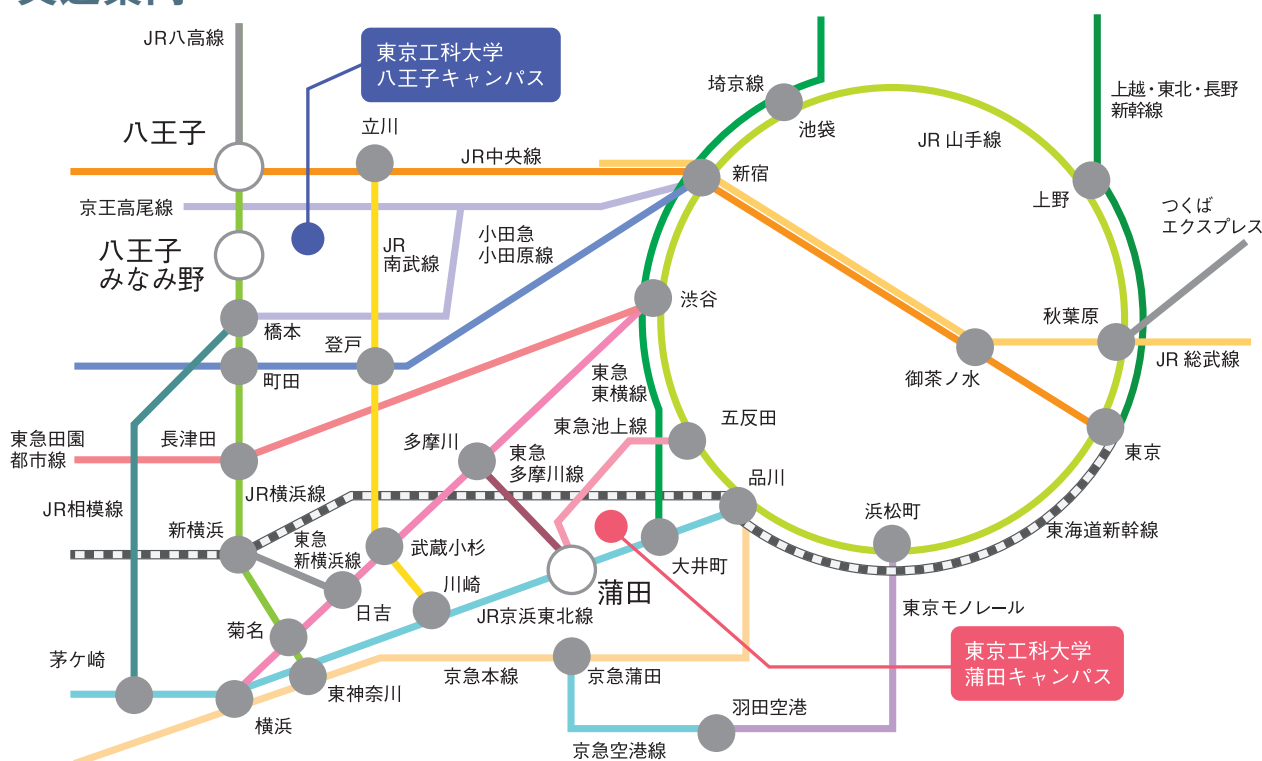
ご連絡がない場合、直接来学いただいてもご面談は対応いたしかねます。予めご了承ください。

お問い合わせ先

キャリア支援部 八王子キャリアコーオプセンター（八王子キャンパス）…… 〒192-0982 東京都八王子市片倉町1404-1
蒲田キャリアセンター（蒲田キャンパス）…………… 〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22

両キャンパス共有E-mail jm-qjin@stf.teu.ac.jp

交通案内



八王子キャンパス

JR中央線「八王子」駅南口からスクールバス約10分
JR横浜線「八王子みなみ野」駅西口からスクールバス約5分

蒲田キャンパス

JR京浜東北線・東急池上線・東急多摩川線
「蒲田」駅西口から徒歩2分



[八王子キャンパス]

〒192-0982 東京都八王子市片倉町1404-1
TEL. 042-637-2117

[蒲田キャンパス]

〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22
TEL. 03-6424-2121

本学への求人は **キャリアタスUC** からお受けしています。
詳しくは本学ホームページをご確認ください。

<https://www.teu.ac.jp/>

MAIL jm-qjin@stf.teu.ac.jp (両キャンパス共通)
